

本演奏会によせて

指揮 竹本 泰蔵

1900年代、音楽の世界に大きな変化が訪れました。クラシック音楽は、調性を失ったことでソナタ形式が成立せず、行き先を失いつつありました。

1950年代からはロックンロールが世界を圧倒。プレスリーやビートルズが、今まで職業音楽家の仕事だった作曲や演奏を、アマチュアの世界に解放しました。

クラシック音楽の未来はどうなるのか?そんな折、一つの道が見えてきました。

第2次世界大戦で、活動の場をアメリカに移したユダヤ系作曲家が、映画音楽という分野で頭角を現します。「風と共に去りぬ」のM.スタイナーはじめ、E.コルンゴールド、F.ワックスマン…。

ここにアメリカ人の新たな才能が加わります。映画音楽の現場で経験を積み、オーケストラに新たな可能性を見出した、ジョン・ウィリアムズです。

「スター・ウォーズ」に代表される彼の作品は、20世紀の混沌とした音楽の流れの中で生み出された、まさに奇跡のような作品です。

近年はウィーン・フィルやベルリン・フィルでも演奏され、その存在感を決定的なものにしました。新たなクラシック作品「スター・ウォーズ」。今後も世界中のオーケストラで演奏され続けることでしょう。

今日、このコンサートで「スター・ウォーズ」を演奏できることを心から嬉しく思っています。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。



NAGOYA SHOWA SYMPHONY
ORCHESTRA The 5th Concert